

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(史跡)

しろえやよいじだいこうきしゅうだんぼちあと
白江弥生時代後期集団墓地跡

新高総早倉
見梁社島敷
市市市町市

矢掛町

井浅里笠
原口庄岡
市市町市



場所

や かけちょうなか
・矢掛町中



時代

やよい じ だい こう き
・弥生時代後期



指定年月日

しやうわ
・昭和41(1966)年
4月12日



所有

なかざい さんく ほか
・中財産区他



この史跡について

いもおが やま おね たい ちゅうしん やく やく はん い やよい じ だい こう
芋岡山の尾根の平らなところを中心に南北約25m、東西約10mの範囲につくられた弥生時代後
き こ ふん じ だい はか い せき き どう ぼ ほ つけん き しゅ
期から古墳時代のお墓の遺跡です。30基の土壇墓が発見され、うち2基からは朱が出てしまし
た。この他に、古墳時代の箱式石棺が2基確認されています。また丘陵の南側には幅約2mの墓の
あるところの境界と思われる溝を掘り、土器を供えていることが分かりました。

せい かつ く い き まい そう ち い き めい かく し しや てい ねい う かつ どう じ ひと ひと てい ちやく
生活区域と埋葬地域を明確に分け、死者を丁寧に埋める考え方が当時の人々の中に定着して
いたと考えられています。出土土器には立坂型の特殊器台の破片をはじめ、特殊壺・壺・甕・高坏
しゅつ どの き たち さか が た とく しゅ き だい は へん とく しゅ つ ぽ つ ぽ かめ たか つき
などがあり、出土品は倉敷考古館に所蔵・展示されています。